



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりでは、中町集落での人足と田植えの様子についてお届けします。

(顔写真が新しくなりました！)



地域おこし協力隊 集落支援担当

渡辺 ^{たかひろ} 貴洋 隊員

奥川・中町集落の人足

今年の春の人足は、大学生をはじめとした町外の人との交流ができない中、町内にいる地域おこし協力隊らの手伝いのもと、約5キロにわたる水路の堰上げを行いました。

参加した人の中には、人足を初めて体験した人もいました。「想像していた以上に大変な作業だった」「人数が少ないとなおさらそう思う」と話していました。

集落の皆さんは、「今年は他から来なくて残念に思いますが、町内にいる若い人たちが手伝いに来てくれて助かりました」と話していました。

人足は、高齢化が進む集落において年々作業が大変になってきている現状を体感しつつ、作業を通じた交流が楽しいことや作業をした後のご飯が何倍もおいしいことを分かち合うことができるものだと思います。



中町集落の人足の様子

田植えの季節

今年も奥川・中町集落内の田んぼで田植えの体験を行いました。岩橋集落支援員に教えていただきながら、協力隊員らで手植えをしました。

ぬかるむ足元、おぼつかない手つきながら、1時間ほどで約170平方メートルの田んぼに

苗を植えました。

植え終わった苗の並びの個性や、みんなで協力できるのも手植えの良さの一つだと思います。昨年作った米でおむすびを作り、作業が終わった後にみんなで一緒に食べるのもまた格別でした。

これからぐんぐん育つのが楽しみです。採れた米は集落支援拠点施設に宿泊した人に提供されます。



田植えの様子

集落支援拠点施設の看板が完成しました

今までは仮の看板を掲示していましたが、木の板をきれいに加工した新しい看板が設置されました。



この文字は、町内の人からお願いして書いてもらったものです。飯豊連峰や奥川を流れる川を表現しつつ、「集落」の文字が西会津町と支援という文字の間にあることが、西会津町の中で支援される集落を意味しています。「結」の文字は、支援に来た人たちとつながるという意味を込めて文字自体も丸みを帯びています。

たくさんさんの意味が込められた看板、奥川に来た際はぜひ一度ご覧ください。